

GINGA REPORT 401

No. 107
2024.4

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和6年4月1日
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム
電話：059-355-2700

4月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

猟犬を連れた見張り人

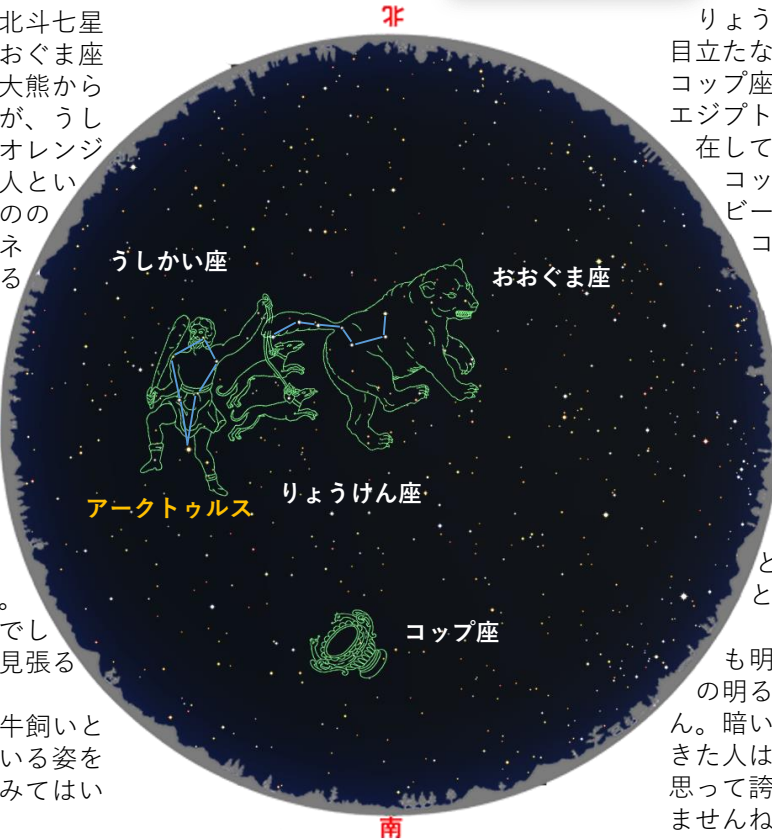
4月15日21時の星図

夜空に輝く立派なカップ

7つの星の並びが特徴的な北斗七星は、全天で3番目に大きいおおぐま座の一部でもあります。そんな大熊から飼っている牛を守っているのが、うしかい座です。中でも、明るいオレンジ色のアークトゥルスは熊の番人という意味で、うしかい座そのもののような星です。そこから北へネクタイのような形に星をたどると、うしかい座の全景を描き出すことができます。

うしかい座はりょうけん座という2匹の猟犬を連れています。ご主人に連れられ、しっかりと牛を守っている様子がしっくりくるりょうけん座ですが、実は17世紀後半にヘベリウスという天文学者が新しく作った星座の一つです。もともとはおおぐま座の一部でしたが、現在は、そんな大熊を見張る役目の星になりました。

春の夜空を見上げる際は、牛飼いと共に猟犬が大熊を追いかけしている姿を想像しながら、星探しをしてみたいかがでしょうか。



りょうけん座が新設星座なのに対し、目立たないわりに歴史の古い星座がコップ座です。今から3000年以上昔、エジプトにもコップ座らしき星座が存在していたと言われています。

コップと言われると、ジュースやビールを飲むときなどに使われるコップを思い浮かべてしまいがちですが、このコップ座になっているものは、運動競技などで優勝したときにもらうような大きくて立派なカップです。

古代ギリシャでは太陽と芸術の神、アポロンの酒杯。ローマ神話では、酒の神バックスが酒を作る時に使った鉢とみて、ディオニュソスの鉢とも呼ばれていました。

コップ座は残念なことに、最も明るい星でも4等のため、都会の明るい夜空だとほとんど見えません。暗いコップ座を見つけることができた人は、優勝カップをもらったとって誇らしく思ってもいいかもしれませんね。

天文トピックス

周期彗星ポン・ブルックス

ポン・ブルックス彗星は、1812年にジャン・ルイ・ポンによって発見され、次に回帰した1883年にウィリアム・ブルックスによって新彗星として発見されました。この彗星の公転周期は、70.8年で76年周期のハレー彗星とよく似た特徴があります。太陽に最も接近するのは4月21日で、この日にかけてだんだんと明るくなるかとされています。ただ、日の入りが遅くなる季節です。肉眼では見つけることができないかもしれません。この彗星の回帰は、2024年注目の天文現象の一つです。



はじめてのプラネタリウム

しまじろうとたんじょうびのおほしさま

おしゃべりしたり、泣き出したりしても大丈夫。気がねなく楽しめる幼児向けのプラネタリウムです。(プラネタリウム内は通常より明るくしています。)



毎月第3日曜日 10:05~10:50
11:20~12:05
祝日 10:05~10:50

©Benesse Corporation / しまじろう

博物館主催 スターウォッチング

博物館主催きらら号観望会

日時：4月27日(土) 13:00~15:00

場所：三滝公園





内容：太陽を見よう



編集後記

東の方からおおぐま座やうしかい座など、春を代表する星座が昇ってくるのを見つめられたり、桜のつぼみが見られると、ようやく春がやってきたんだなと感じることができそうです。春は心なしか星空もうるんで見える春霞の季節の到来ともいえますが、条件の良い暖かい日に夜桜とともに星空観察をしに出掛けていきたいものです。

4月の月

- 2日  下弦
- 9日  新月
- 16日  上弦
- 24日  満月

- ※申し込み不要、参加無料、天候不良時は中止。
- ※参加者が多い場合は受付を制限することがあります。
- ※天候不良等による実施判断は、開始時刻の3時間前に当館ホームページ及びFacebookで発信します。